

支援のお礼にビン玉

歌津 石浜 海産物ないが浜らしく

南三陸町歌津石浜 地区の漁師らが、支援に訪れるボランティアに漁で使わなくなったガラスの浮

き球（ビン玉）をお礼にプレゼントしている。沿岸部独特の贈り物にボランティアが感激している。



ガラスの浮きを贈り、感謝する高橋さん(左)

浮き球のお礼を発売したのは、契約会

長の阿部登志夫さん(63)。青や緑色の浮

き球は、数十年前に

マグロ延縄漁の網に

使っていたが、今は

プラスチック製のも

のが主流となってお

り、珍しくなった。

「普段であれば、

お礼にワカメや新鮮

な旬の海産物を渡せ

るが、今は海に何も

ない。せめて漁師ら

しいものを」と阿部

会長。

漁師仲間にも力を

ため、浮き玉を高橋

信義さん(所)らが感謝の気持ちを入れ、ロープ一本できれいに包む。手際よいその作業に、ボラン

業者の素早さに驚きました」と、高年齢のリハビリなどを支援している神奈川県川崎市の健康応援隊・川内潤さんは「港町独特の品で持ち帰ったら部屋に飾りたい。励ますつもりが元気をもらってます」と笑顔を見せていた。

熟練の技で感謝

「部屋に飾りたい」 ボランティア

持ってきてくれた団体などに約20個を贈った。

ボランティアで医

阿部会長らは「復興した際には歌津の海を見に来てほしい。本当のお礼はそれからです」と話していた。